

## 糖尿病ケアの今日的課題と対策

稲垣 美智子

(金沢大学大学院医学系研究科保健学専攻)

### I. はじめに

このセミナーは、2005年度の研究会企画の1つとしての本企画のトップバッターでした。どのくらいの方が参加いただけるのか、内容はニーズにあっていかなど不安を抱えての準備および開催でした。その不安をよそに多くの熱心な方のご参加を得て、糖尿病ケアに携わっている者の一人として頼もしく感じたセミナーでもありました。ここに当日の内容について紹介いたします。

### II. 内容

当日は以下の4つの章立ておよび内容で実施した。

#### 1章：糖尿病ケアの今日的課題と対策

<今日的課題>

- 1) 医療経済およびそのことが患者に与える影響
- 2) 患者の年齢層の広範囲化
- 3) 医療の専門分化の功罪
- 4) 今なお医療者が「困った患者」と思う患者が後を絶たない現実とその意味

<対策>

- 1) 合併症についての教育の見直し
- 2) 患者および住民参加型医療の推進
- 3) 医療体制の見直し
- 4) 人材育成と配置

#### 2章：看護者としての取り組み

<個人の取り組み：個人の力量をあげる>

- 1) 教育技術
- 2) 相談技術
- 3) コンサルテーション能力
- 4) 家族ケア
- 5) その他

<チームでの取り組み：チームを成熟させる>

- 1) チーム医療の整備
- 2) 人材育成
- 3) システムの整備あるいは開発
- 4) アウトカム指標の作成

5) その他

<問題提起>

- 1) 自分自身への問いかけ：自分は頼れる存在か、医療者の私の願いが患者と共有されているか、患者から本当に学んでいるか、患者の体験例えば糖尿病のやっかさをどれだけ聴き感じているかなど
  - 2) 糖尿病ケアに良く使われる用語と概念
- <上記についての稲垣の取り組みの実際：紹介>

#### 3章：臨床でケアに困る患者様への対応

<一般的に多いと思われる事例とその理由と取り組みの方向性>

外来通院患者、高齢者、一人暮らし、1型糖尿病、バーンアウト

<2事例を挙げて事例検討>

#### 4章：実践している糖尿病ケアを看護研究にするためには

- 1) 看護現象の説明および研究方法
- 2) 研究として成り立つ条件および倫理

### III. おわりに

糖尿病ケアは未解決な課題も多いのが現状です。私たち看護者が今すぐ着手することは、できることとやらなくてはならないことを整理し、うまく研究と付き合い(知見を活用する、生み出すこと)、必要なことを系統的に研究することが必要ではないでしょうか。今後、関心を持つ方が共同して研究に着手することも大きな意義があるのではないかと提案し会を終了しました。私にとっては有意義であり、この機会を与えて下さった研究会および参加者の方に心から感謝します。